

# 令和4年度 広島文化賞受賞者

## 個人の部 (美術-工芸)



みなみ まさのぶ  
南 昌伸 氏  
広島市

広島市在住の広島市立大学名誉教授、66歳。

東京藝術大学美術学部工芸科及び大学院美術研究科で銅や合金、金、銀、鉄などの板金を表裏から鋸で打ち器物を形成する我が国の伝統的工芸（鍛金）の技術を習得、研鑽を積み、長く現代工芸美術分野で活躍する高い技術を持った鍛金作家。

若い頃から独自の立体造形的発想が注目されてきたが、一貫して「工芸の用の美」を超えた独自の創造的芸術表現を追求している稀有な芸術家である。

## 団体の部 (音楽-現代音楽)



アンサンブル・アカ  
東広島市

2000年に民族音楽等幅広い音楽の演奏会を開始。現在、構成員15名。

オーソドックスな既成曲の演奏を超え、現代音楽を中心に様々なジャンルの音楽に取り組み、常に芸術性と技術力の向上に努めている。

広島から発信する新たな音楽を常に意識し、新作公募した国際的に活躍する若手作曲家と触れ合い、音楽文化の創造を目指す姿は、広島での芸術活動の在り方として独創的、先駆的であると言える。

# 広島文化賞 贈呈の状況

回	開催年月日	贈呈数		回	開催年月日	贈呈数		回	開催年月日	贈呈数	
		個人	団体			個人	団体			個人	団体
第1回	昭和55年10月21日	11	4	第19回	平成10年10月28日	2	1	第37回	平成28年11月24日	1	1
第2回	昭和56年10月21日	8	4	第20回	平成11年10月13日	2	—	第38回	平成29年11月30日	2	—
第3回	昭和57年10月14日	5	6	第21回	平成12年10月25日	2	1	第39回	平成30年11月 6日	1	1
第4回	昭和58年10月20日	7	6	第22回	平成13年10月18日	2	1	第40回	令和元年11月 8日	—	—
第5回	昭和59年11月6日	6	6	第23回	平成14年10月24日	2	1	第41回	令和2年12月 4日	1	1
第6回	昭和60年11月13日	5	5	第24回	平成15年11月21日	2	1	第42回	令和3年12月 6日	1	—
第7回	昭和61年12月3日	5	5	第25回	平成16年11月16日	2	1	第43回	令和4年12月 2日	1	1
第8回	昭和62年11月2日	3	4	第26回	平成17年12月3日	2	1				
第9回	昭和63年11月29日	4	4	第27回	平成18年11月28日	2	1				
第10回	平成元年11月20日	4	3	第28回	平成19年11月26日	2	1				
第11回	平成2年11月14日	3	6	第29回	平成20年11月18日	2	1				
第12回	平成3年10月25日	6	6	第30回	平成21年11月26日	2	1				
第13回	平成4年10月27日	4	2	第31回	平成22年11月22日	2	1				
第14回	平成5年10月22日	3	3	第32回	平成23年11月14日	2	—				
第15回	平成6年10月8日	3	3	第33回	平成25年11月19日	1	1				
第16回	平成7年10月15日	2	1	第34回	平成25年11月25日	—	1				
第17回	平成8年10月19日	2	1	第35回	平成26年11月26日	2	1				
第18回	平成9年10月15日	2	1	第36回	平成27年11月16日	2	1	合計	個人123	団体90	



# 令和4年度 ひろしま文化功労者表彰受賞者

## 個人の部 (地域文化)



いまい ゆたか 氏  
今井 豊 氏  
尾 道 市

尾道市在住の74歳。

因島周辺地域の郷土史及び村上水軍史の研究を30年間行い、郷土史の研究に尽力している。

1998年からは因島市文化財保護委員に、尾道市との合併後は尾道市文化財保護委員に就任し、文化財保護行政に貢献している。

2014年 因島文化功労賞受賞。

「中庄史跡散歩」、「因島史跡散歩」を刊行し因島の史跡を紹介するとともに、因島の民話を題材にした歴史小説「義人 出来屋の重太」で2021年福山文学選奨 短編小説部門最優秀賞を受賞。

## 個人の部 (生活文化—将棋)



くらた ひでお 氏  
蔵田 秀雄 氏  
福 山 市

福山市在住の70歳。

1969年、日本将棋連盟福山支部に入部し、同支部幹事長を経て、日本将棋連盟普及指導員から日本将棋連盟棋道指導員となる。現在は日本将棋連盟支部長。2021年には広島県内で21年ぶり2人目となる日本将棋連盟棋道師範の資格を取得。将棋の普及に尽力している。

活動は将棋教室だけにとどまらず、毎月開催される福山支部例会や、福山市制100周年名人戦記念将棋大会など毎年20回もの大会の開催運営に携わられている。

福山市小学校親善将棋大会を立ち上げ、後進育成にも尽力している。

## ひろしま文化功労者表彰 贈呈の状況

年度	回	開催年月日	個人	団体
平成25年度	第1回	平成25年11月25日	—	
平成26年度	第2回	平成26年11月26日	—	
平成27年度	第3回	平成27年11月16日	3	
平成28年度	第4回	平成28年11月24日	1	
平成29年度	第5回	平成29年11月30日	1	
平成30年度	第6回	平成30年11月6日	2	
令和元年度	第7回	令和元年11月8日	2	
令和2年度	第8回	令和2年12月4日	1	
令和3年度	第9回	令和3年12月6日	1	
令和4年度	第10回	令和4年12月2日	2	
合 計			13	—

※令和4年度から団体の部を創設



公益財団法人ひろしま文化振興財団

# 令和4年度 広島文化新人賞受賞者

## 個人の部(美術—絵画・彫刻)



木村 翔太 氏  
広島市

広島市在住の29歳。広島市立大学大学院芸術学研究科修了。現在は、ひろしま美術研究所専任講師。木彫作品では「縄」を題材にして「雲」を表現する。捻じれなど独特の性質を生かし、ダイナミックな量感と独自の視点による雲の質感を作り上げ、絵画では「電柱」を作品の主軸として扱い、日常と非日常を交差させる世界観で見る人を惹き付けている。

児童から大人までを対象とした「美術教室ニワトリクラブ」を設立し、ワークショップやアートスクールを開催している。2021年に東広島市でアートギャラリー「GALLERY HIGHLIGHT」を設立、展覧会やワークショップを開催し、地域の文化芸術の発展に貢献した。活動範囲を東広島市から広島市へ移行しつつより新たな企画でコミュニティの場となるよう計画している。

2022年から東広島市美術展無鑑査作家となる。

## 個人の部(美術—彫刻)



久保 寛子 氏  
広島市

広島市在住の35歳、美術家。広島市立大学大学院芸術学研究科修了。テキサスクリスチャン大学院美術修士課程修了。

先史芸術や民族芸術、文化人類学のリサーチをベースにしながらブルーシートや軍手といった生活に身近な素材を用いて農耕や偶像をテーマに作品制作を行っており、野外作品においてはその土地の環境に呼応しながら、ダイナミックで象徴的な造形表現をしている。

2017年に広島市営基町高層アパートの一角に「Alternative Space CORE」という多目的スペースをオープンし、現代美術をはじめ、様々なジャンルの文化を発信し、ブロックパーティーも定期的に行うことで基町地域に根付いたスペースとしての運営を行っている。

2017年、六甲ミーツ・アート公募大賞グランプリ受賞

2021年、「Alternative Space CORE」が第1回社会彫刻家アワードを受賞

## 個人の部(美術-工芸)



たかやま なおや 氏  
高山尚也氏  
広島市

広島市在住の41歳、漆芸作家。家業である仏壇業を営む株式会社高山清の専務取締役。伝統工芸的広島仏壇の製作や修復も手掛けている。

京都での修業で蝋色磨きの技術を習得したのち、4代目として家業に従事。2018年より漆器制作に着手し始め、2019年の第62回日本伝統工芸中国支部展に出品した作品が入選したのを皮切りに、短期間で数多くの賞を受賞し実績を築いている。2021年度には広島の特産品「ザ・広島ブランド」として、手掛けた漆器が、「広島漆芸」として認定された。「広島漆芸」は広島仏壇の塗師の技をさらに磨きをかけて独自に開発した新しい工芸品であり、注目を集めている。また、大学等で研修会講師として広島の前文化を次世代に繋ぐ活動も行っている。

2020年、第45回全日本伝統的工芸品公募展で乾漆お猪口「CORO」が日本商工会議所会頭賞を受賞。

## 個人の部(美術-絵画)



ふじを  
FUJIWO 氏  
広島市

広島市在住の36歳、美術作家。比治山大学短期大学部美術家卒業。アーティストネーム FUJIWO で広島を拠点に活動している。

学生時代から作家活動を始め、国際 AU 現代美術会員として世界中の展覧会で作品を発表してきたが、これまで描かなかった動物をモチーフにしたことがきっかけで、本来持っている魅力ある明るさ、大胆さ、命に対する分け隔てのない作風が加わり、美術作家として大きく成長した。カラフルなアクリル画や、日用品を使用した作品を制作。美術表現としては、観る人を笑顔にし、元氣や明るさや希望を感じさせ、前向きにさせる作風である。

「横川ゾンビナイト」では、「広島フェイスペイント組合」として、「ゾンビ感染所」の運営とマネージメントを行うなど地域社会に美術を通して貢献している。

## 広島文化新人賞 贈呈の状況

回	開催年月日	贈呈数	
		個人	団体
第1回	令和 2年12月 4日	3	—
第2回	令和 3年12月 6日	3	—
第3回	令和 4年12月 2日	4	—
合計		10	0



公益財団法人ひろしま文化振興財団